



令和2年2月13日
在ナイジェリア日本国大使館

令和元年秋の外国人叙勲伝達式

ウドマ・ウド・ウドマ氏に旭日重光章を伝達

2020年2月12日、菊田豊在ナイジェリア日本国大使公邸にて、外国人叙勲伝達式が実施されました。ウドマ・ウド・ウドマ氏は、日本・ナイジェリア間の関係強化及び友好親善に寄与した功績が認められ、天皇陛下の名の下に与えられる上位の勲章の一つである旭日重光章を受章しました。優れた弁護士であるウドマ氏は、2015年から2019年にナイジェリア連邦共和国の予算・国家計画大臣、2011年から2015年に駐ラゴス日本国名誉領事を務め、日本政府から旭日章を与えられる初めてのナイジェリア人となりました。

本式典には、ウドマ・ウド・ウドマ夫妻、ウドマ氏親族の他、ハキーム・ベロ・オサギエ夫妻（ウド・ウドマ・アンド・ベロ・オサギエ法律事務所共同代表）、プリンス・ンドゥカ・オバイグベナ氏（ディス・デイ紙及びアライズ・ニュース・チャンネル会長兼編集長）、オボン・ビクター・アタ氏（元アクワ・イボム州知事）を始めとするウドマ氏の友人が出席した他、在ナイジェリア日本国大使館員及び奥村真紀子 JICA ナイジェリア事務所長が出席しました。

「令和元年秋の外国人叙勲伝達式」

場所：菊田豊在ナイジェリア日本国大使公邸

日時：令和2年2月12日（水）12:00-14:00

【参考】「旭日重光章」

「旭日重光章」は、最も格の高い旭日章の一つで、明治8年（1875年）に我が国最初の勲章として制定されました。勲章のデザインは、昇る朝日と日射しをかたどっています。天皇陛下の名の下、国際関係、日本文化の促進、福祉の向上、環境保存において顕著な功績を挙げた者に授与されます。旭日章は「旭日大綬章」、「旭日重光章」、「旭日中綬章」、「旭日小綬章」、「旭日双光章」、「旭日単光章」で構成されます。